**大山崎小学校沿革の概要**

明治　６年　９月　 大山崎小学校開校(大山崎荘早稲田 面積617.1㎡) 大山崎荘､円明寺村､下植野村の３村で創立

 ２０年　４月 小学校令改正。大山崎尋常小学校と改称（４ヵ年の義務教育制度）

 ３８年　４月 校舎全面改築（校地面積3､458㎡)

 ４１年　４月 尋常科教育年限が６ｶ年に改正。尋常科６学年５学級。高等科１学級の計６学級

昭和１０年　７月 校地移転（大山崎村松原、同円明寺。16､500㎡）

 １６年　４月 大山崎国民学校と改称

 ２２年　４月 大山崎村立大山崎小学校と改称

 ４２年　８月 校舎増築第１期工事着工（鉄筋コンクリート３階建て）大山崎町立大山崎小学校と改称

 ４５年　８月 第２期工事着工（鉄筋コンクリート３階建て）

 ４８年　４月 第二大山崎小学校分離

 １０月 創立１００周年記念式典

 ５１年 ４月 体育館、中庭観察池完工

 ５２年 ７月 プール改修、給食室改築

 ５４年 １月 昭和５３年度京都府給食優良校として表彰を受ける

 ５５年 ９月 運動場改修工事完工

 ６０年 ６月 京都府体育研究大会開催、研究発表をする

 ６３年 ４月 大山崎町教育委員会「理科」研究指定を受ける

 ９月 北校舎大規模改修工事完工

 １０月 京都国体フェンシング競技会場（町体育館）６年児童参加

平成　元年 ４月 京都府教育委員会「理科」実践推進校指定を受ける

 ３年 ４月 文部省及び大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校の指定を受ける

 ３月 本館校舎大規模改修工事完工

 ４月 京都府教育委員会及び大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校の指定を受ける

 １１月 文部省指定「道徳」教育研究の発表会をする

 ５年 ４月 大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校（３年次）の指定を受ける

 ６年 １月 平成５年度京都府教育委員会さわやか賞」奨励賞を受賞する

 　　 ４月 大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校（４年次）の指定を受ける

 ７年 １月　　阪神淡路大震災発生　校舎の内外壁面に亀裂が多数入る　阪神地区より被災児童６名受入れる

　　　　　　４月 大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校（５年次）の指定を受ける

 ８年　４月　　大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校（６年次）の指定を受ける

 ９年 ４月 大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校（７年次）の指定を受ける

 １１月　　平成９年度京都府教育委員会「さわやか賞」奨励賞を受賞する

 １０年　４月　　大山崎町教育委員会より「道徳」教育実践推進校（８年次）の指定を受ける

 １１年　４月 京都府教育委員会より「総合的な学習」のパイロット校及び大山崎町教育委員会より教育実践推進校の指定を受ける

 　　 １０月　　「総合的な学習」のパイロット校教育実践推進校研究報告会が開かれる

 １３年　４月　　教育方法の工夫　加配教員が配置され、「少人数授業」が始まる

　　１４年１０月　　創立１３０周年記念

　　　　　１０月　　全日本特別支援教育研究連盟全国大会(京都府大会)の公開授業校となり、発表する

 １５年　４月　　学校評議員制度の導入。京都府教育委員会より学校評価試行校の指定を受ける

　　１６年　４月　　京都府教育委員会より教職員評価試行校の指定を受ける

８月　　南校舎壁改修工事完工

１７年　４月 読書活動優秀実践校として「文部科学大臣賞」を受賞

 １８年　４月　　国立教育政策研究所より「学力把握に関する研究指定　理科教育」を受ける

 １９年　４月 国立教育政策研究所より「学力把握に関する研究指定　理科教育」（２年次）を受ける

 ２０年　４月 「教師力向上」教育実践力継承事業、乙訓かがやき校の指定「理科」を受ける

　 ２１年　４月　　「教師力向上」教育実践力継承事業(２年次)、乙訓かがやき校の指定「理科」を受ける

１２月　　北校舎耐震工事完工

 　１月 平成２１年度「京都府給食優良校」として表彰を受ける。

　　２２年 ４月 京都府交通安全協会より、「大山崎小学校校外班会」に表彰を受ける。

２４年　４月　　京都府教育委員会より「京の未来創造校」の指定を受ける

２５年　４月　　京都府教育委員会より「京の未来創造校」（２年次）の指定を受ける。

２６年　１月　　創立１４０周年記念航空写真撮影

２６年　４月　　京都府乙訓教育局「ＯＡＳＩＳ校」の指定を受ける。

２７年　４月　　京都府乙訓教育局「ＯＡＳＩＳ校」の指定を受ける。

２８～３０年　　京都府小学校教育研究会「生徒指導」研究協力校の指定を受ける。（３年間）

３１年　２月　　京都府小学校教育研究会「生徒指導」研究発表会を開催する。

令和　２年　４月　　京都府教育委員会より「次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業」の

　　　　　　　　　　指定を受ける。（町立小中学校、京都府立西乙訓高校）